

# 平成28年度 愛知県立常滑高校生ポスター



今回の税関PRポスターでは「密輸の罪の重さが伝わるポスター」をテーマに描きました。今回のポスターの中に、主に密輸されている財布やバッグ、拳銃、麻薬などを入れ、その中に人の手に手錠が掛けられている表現をすることで、誰が見てもやっつけられないことだというイメージをいたしました。このポスターですらでも密輸が減少すれば幸いです。



僕はこのポスターを通じて、海外からの密輸入やテロなどを防ぐための厳しいセキュリティが維持されていると伝えることを印象に残ったのが麻薬探知犬です。たまたま荷物や人間の匂いをかき分け麻薬を見つけた姿勢はとて、今回のポスターに麻薬探知犬を取り入れました。探知犬が薬物を監視をし、たたくという人影をいびつに描くことで、誰が所持しているかわからないモヤモヤ感を表しました。そして人影のいくつかに大麻草を加え、所持している人を見つけている様子を通して密輸入やテロに対する警戒が強いことが伝わればと思います。



私たちが安心、安全に生活できるのも税関の方々が危険なものから守ってくれているからです。麻薬や拳銃などの密輸取締など税関は私たちの知らない間に国を守ってくれています。ポスターでは「安全と危険を見るふたつの眼」とあるように、ふたつの眼で安全と危険を見ていることを簡単に理解してもらえないために、目線の先に何も入っていない荷物と、拳銃や麻薬などの危険物が入っている荷物を描き、税関の働きをわかりやすく表現しました。



ポスターには平和を象徴するハトを地球の上に描き、ハトが一番目立つような色にしつつ、穏やかで平和を感じさせるために、ハトの周りの色をやわらかい色にしました。税関の方が一つ一つの検査を丁寧に行い、国内に違法な物が持ち込まれないようにしっかりと取り締まりをしていただいているからこそ、私たちは安心・安全に生活できていることをポスターのコンセプトにしました。

